

学 内 往 来

2024 年度の「上智大学社会福祉研究」は、高山恵理子教授退任記念号です。

高山先生からは、『42 年を振り返る一時代と歩むソーシャルワーク実践、そして研究―』をご寄稿いただきました。社会や政策の影響を受けて大きく変化してきた医療ソーシャルワーカーの役割や機能を、先生ご自身の経験やエピソードを交えて学ぶことのできる大変貴重な内容です。改めまして、高山先生 of 社会福祉学科へのご貢献とご尽力に感謝申し上げますとともに、今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

さて、社会福祉学科では今年から卒業論文の執筆を選択制としました。それにともない、卒業論文の成果報告会の実施方法を変更し、論文を執筆した学生が時間をかけて発表できるようになりました。研究を通じて得られた示唆や成果を報告する 4 年生の姿は頼もしく、この間の努力の跡がにじみ出ていました。また、論文を執筆しなかった学生も、会場に集い質疑応答や意見交換に積極的に参加し、各々が学びや気づきを得る時間となりました。今後も試行錯誤を重ねながら、学生一人ひとりが自分らしく学び、実り多い学生生活となるよう我々教員も創意工夫を続けていきたいと考えます。

2024 年度は社会福祉学科の卒業生数が 69 人、社会福祉学専攻の修了生数が 3 人となりました。ご卒業、ご修了おめでとうございます。皆さまの人生に幸多いことを祈念します。

編集代表 鍋木 奈津子